

事務事業名 花と緑のあふれる街づくり推進協議会支援事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:04 都市の整備

部名:都市建設部

課名:都市整備課

基本事業:99 施策の総合推進

計画年度	年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
花と緑のあふれる街づくり推進協議会		協議会の植栽活動に資材等を提供し協力する。 ・ 5、6月に夏花、11月に冬花を各施設に植栽する。 成東病院、成東幼稚園、福祉協議会へ 各50本 国道126号沿い津辺地先へ1,000本、松尾駅前公園へ150本 夏花（ペチュア、マリゴ、日草、向日葵、葉げいとう） 冬花（金盞花、ノースポール、石竹、パンジー、デージー） ・ 播種、移植、草取り等の作業				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		消耗品 170,413円 燃料費 1,344円 食糧費 18,971円 郵便料 27,620円				
植栽事業をととして花壇等が適正に管理される。						
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	資材提供回数	件	37	13	30	-
活動指標	市協力参加日数	日	137	163	120	-
成果指標	事業実施延べ日数	日	93	13	60	-
成果指標	延べ参加人数	人	315	171	250	-
事業費		千円	104	218	222	
		うち一般財源	千円	104	218	222
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い		公共の場への植栽事業をボランティアで行っているものに対する資材支給であり、市の役割である。				
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業		公共の場への植栽事業であるため。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他		会の目的に賛同して集まったボランティア団体のため。				
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない		計画していた、花の移植だけでした。				
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない		類似の事業があると思われるので、当面調査・検討していきます。				
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない		ボランティア団体なので、受益者負担は難しい。				